

# 《 2P~3P 広報紙まつりを特集 》



## 3年ぶりに開催の 表彰式・全受賞作品を 紹介します!



※新型コロナウイルス予防のため、今年度も一般の方への展示を中止いたしました。

# PTA さっぽろ

第133号3月10日発行



SAPPORO



編集・発行:札幌市PTA協議会 広報委員会  
ホームページ <http://sapporo-pta.gr.jp/>  
e-mail [shipikyo@sapporo-pta.gr.jp](mailto:shipikyo@sapporo-pta.gr.jp)  
〒063-0051札幌市西区宮の沢1-1-10  
札幌市生涯学習総合センター3F TEL. (011) 671-2371  
印刷:株式会社OK印刷

## 三行詩・交通安全標語 表彰式

令和4年12月10日(土)札幌サンプラザにて、札幌市PTA協議会「優良三行詩」と札幌市PTA共済会「交通安全標語コンクール」の表彰式が行われました。



「三行詩」は、日本PTA全国協議会主催「楽しい子育て全国キャンペーン三行詩募集」家庭で話そう!我が家のルール・家族のきずな・命の大切さ」に際し昨年募集したものです。市内小中学校の児童・生徒、また保護者の皆様より720点のご応募をいただき、中から札幌市PTA協議会会長賞3点、奨励賞12点が選ばれました。

「交通安全標語」には市内小中学校200校からの応募があり、各区最優秀賞をはじめ優秀賞・佳作の各賞が選ばれました。たくさんのご応募ありがとうございました。受賞された皆様おめでとうございます。優良三行詩から会長賞3点、交通安全標語から各区の最優秀作品10点をご紹介します。

## 優良三行詩 会長賞 作品

小学生の部

命とは 親からもらう  
一生に一度の プレゼント



中学生の部

家を出る 僕に一言「気を付けて」  
靴を履く背に 言葉のお守り



一般の部

8割「ツン」で2割「デレ」  
成長を感じる毎日だけど、  
小さな出来事でも  
いつも伝えてくれるね、ありがとう



## 交通安全標語コンクール各区最優秀作品

- 東区 そのいっぽ ぎゃくさいせいは できないよ
- 西区 慣れた道 昼と夜では 違う道
- 南区 「ム」リせずに 「ジ」コない未来 「コ」コロにゆとりを
- 北区 見たつもり 見えたつもりは 自分だけ
- 中央区 「渡っちゃおう」 急ぐ気持ちは 事故のもと
- 白石区 その運転 あなたの家族に 向けますか
- 豊平区 自てん車じこ かぶればキケン へるメット!
- 厚別区 守りたい あなたの笑顔と 自分の身
- 手稲区 あぶないよ 事故につながる 「まあいいか」
- 清田区 お父さんおかえり 今日もあんぜんうんてん ありがとう!!

※受賞作品は旗・ポスターに印刷され配布されます。

令和5年度

## 札幌市文教施策に関する 要望書への回答書手交式

令和4年12月23日(金)札幌市教育委員会教育長室にて手交式が執り行われ、「令和5年度札幌市文教施策に関する要望書」への回答書が檜田教育長より中野会長へ手渡されました。



その後、会議室にて、9区の総務委員が出席し(1区欠席)、回答書作成にあたった教育委員会の関係部署の皆様との意見交換会が行われました。「教育施策を検討するにあたっては、子どもの一番身近にいるPTAからの声が重要である」とのお言葉をいただき、「授業・学習」「不登校・いじめ」「学校設備」「教科書・教材」などの項目に関して意見交換を行いました。最後に、中野会長・青山総務委員長より回答書および意見交換会開催についての感謝とともに、今年度の新たな取り組みとして作成した「意見書」についても、要望書と同様に実現への期待が述べられ、今後子どもたちのより良い教育環境を願う、札幌市教育委員会と札幌市PTA協議会は同じところを目指して活動していきたいと挨拶がありました。

今年度の「要望書」、「回答書」及び「意見書」は、札幌市PTA協議会のホームページに掲載されていますので、是非ご覧ください。

毎日新聞社賞 最優秀賞



札幌市立しらかば台小学校  
保護者と先生の会  
「しらかば」



講  
評

色遣いやレイアウトがすっきりしていて読みやすく、好感が持てました。冒頭の先生紹介は「宝くじ10億円が当たった時」や「無人島に持っていくもの」など意表を突いた質問で、先生の素顔を引き出しています。「すきなもののアンケート&スマホ実態調査」は個性的な企画で、ほかにはない広報紙を目指そうという挑戦的な取り組みに感じます。全12ページのボリュームにも、楽しんで読んでもらおうという意欲があらわれていました。

日本教育新聞社賞 最優秀賞



札幌市立太平中学校  
父母と先生の会  
「ザタイヘイ」



講  
評

特集では、コロナ感染症問題を取り上げ、タイトル毎に関連する対策を端的にまとめ、具体的な取り組み方をバランス良く配置し、レイアウトを整え、「読みやすい・分かりやすい・みやすい」の三拍子が見事に揃った説得力のある記事になっています。また四枚の公募写真を巧みに組み合わせた表紙は、インパクトがあり、更に先生方の紹介や学年行事及びPTA活動の各紙面では、アイディア一杯のメッセージ性の強い内容とその全体の構成が高く評価されました。広報部員の皆様の発想の豊かさとし所懸命さが伝わってくる特筆すべき作品といえます。

市P協会賞 最優秀賞



札幌市立厚別東小学校  
父母と先生の会  
「かぜのとう」



講  
評

かぜ、飛翔、空に浮かぶ風船、カラフルな色使いとバランスの良い表紙の躍動感がとても印象的で30周年の記念号にふさわしい華やかな雰囲気を持った広報紙です。校舎紹介のページでは各階の図面と写真を使った部屋紹介から学校の様子もよくわかります。また、交通安全指導員さんなどの特集を組んだのも子どもたち、保護者にとって、日常子どもたちを見守る方々の紹介として、コロナ禍で地域との連携が難しかった今、子どもにとっても頼もしい情報を発信したページでした。

# 広報紙まつり全体審査評

広報紙まつり審査委員長を務めていただいた北海道通信社参与の村上直史様より「全体審査評」を寄稿いただきました。

ご応募くださいました広報担当の皆様、お疲れ様でした。そして、受賞された広報担当の皆様、おめでとうございます。3年間にわたるコロナ禍の中にあっても、広報紙まつりが継続でき、また久しぶりに直接お礼や感想をお伝えできる表彰式が行えることになり、大変嬉しく思います。従来からの対面方式のほか、オンラインやLINE等、SNSの情報手段も用いてやり取りするなど、苦勞して一つの作品を作り上げてこられた皆様の心意気に胸を打たれました。今回も個性引き立つ素晴らしい作品ばかりでした。審査委員一同、①PTA活動紹介②企画性・アイディア③全体(見やすさ・読みやすさ)のバランスの3観点で審査いたしました。

### ◎「読みたくなる」がポイント!

ある編集後記に「読みたくなる広報紙づくりを目標に意見を出し合い、役割を分担し、楽しみながら活動しています」とありました。この「読みたくなる」「楽しみながら」が活動の目的すべてを物語っていますし、どの作品にもそれが表れていたように思います。広報紙づくりでは費用対効果が話題になり、「高い予算をかけた割には…」という声も聞きます。ですから、広報紙には見出し・色づかいなど、読んでもらう工夫が必要です。区役所やコミュニティセンターのロビーにある刊行物にも「統一感のある色づかい」「見出しの特集」など「手に取ってもらう」工夫が満載です。広報紙づくりの参考になる部分も多いかと思えます。

### ◎「とても楽しかった」でバトンタッチ!

今回も「旬でリアルタイムな記事」等、興味をひく構成でした。雑誌同様、表紙から「手に取ってみよう」という気持ちになるかが一番の鍵です。テーマを掲げクイズ風にお子さんの写真をアップで、教職員の顔を加工して、学校行事や作品を掲載し、玄関下の角度から撮り見出しを強調、花々や校舎を背景に特集の見出しを強調する等、工夫には枚挙のいとまがありません。広報紙づくりには予算や時間がかかり、学校便りやホームページでも足りるとの指摘もありますが、詳細なPTA活動の状況は、やはり「PTA発」でありたいですし、学校・家庭・地域を結ぶのはPTAの重要な役割の一つでもあります。広報紙への意識変化、世代間ギャップもありますが、今の時代だからこそ「負担の少ない新しい広報スタイル」を目指し、「思ったより楽しかったよ!」と次の方に明るく語り継いでいただき、広報紙づくりの灯を絶やさず、「継続・復活」してくださることを心から願っています。

### ◎「広報紙復活の「のろし」を上げて!

「学校での顔合わせが減り、横・たてのつながりが薄くなった」と、ある編集後記にありました。これはこの期間の「現場からの真実の声」でしょう。しかし、単Pの活動が自粛・活動停止を余儀なくされた中でも、3年ぶりの広報紙再開との嬉しいニュースも伝わり、「底を打った広報紙づくりが復活する気配・雰囲気・流れ」を私なりに確実に感じ取っています。卒業アルバムで学校の歴史を刻むように、広報紙もPTA活動の歩みを記す重要な一コマです。ぜひ皆さんの力で「復活ののろし」を上げ、「復活のメッセージ」の幕を切ってほしいものです。

ご尽力いただきました市P協広報委員会、役員並びに事務局の皆様にご心より感謝申し上げます。審査委員長 村上 直史(北海道通信社参与)

毎日新聞社賞 優秀賞

札幌市立盤溪小学校  
保護者と先生の会  
「どんかち」



市P協会賞 優秀賞

札幌市立平岸西小学校  
保護者と先生の会  
「精進川」



### 札幌市PTA広報紙まつり表彰式



# 第45回

# 札幌市PTA 広報紙まつり受賞作

\*受賞おめでとうございます\*

## 広報紙まつり表彰式



2月20日(月)、ちえりあ6階講堂にて第45回広報紙まつりの表彰式が行われました。2度の中止を挟んで3年ぶりのリアル開催となりました。コロナ禍を経て応募数が減少したことから、今年

度も対面での審査会は行わず書面のやりとりでの審査となりました。①PTA活動の紹介②積極的な企画性・アイデア③全体の見やすさ・読みやすさのバランスの3つの観点で審査の結果、札幌市教育委員会、毎日新聞社、日本教育新聞社、北海道通信社、札幌市PTA協議会からそれぞれ最優秀賞・優秀賞各1点、計10作品が選ばれ、表彰式では最優秀賞受賞校に賞状が授与されました。審査委員長である北海道通信社参与の村上直史様から入賞各紙について「評価すべき点」として表紙や色使い、内容の興味深さ、製作者の心意気に至るまで丁寧にお話しいただき、また「改良できる点」についても、全体のバランスや言葉遣いについてアドバイスいただきました。本紙2ページの全体審査評もぜひご覧ください。また、受賞PTA代表として、太平南小学校広報紙作成ボランティアの本間則章様より「4年ぶりの発行となりましたが、PTAと学校・先生、地域とのつながりを伝え共に子どもを育てていけたらとの思いで“PTA活動”に特化した広報紙を作成しました。評価いただき嬉しく思います。」とご挨拶いただきました。来年度もよりたくさんのご応募をお待ちしております。



なお、今年度は展示会を中止といたしました。受賞広報紙はPTA会員の方に貸出することができますので、ご希望がありましたら各区PTA連合会を通して当協議会事務局までご連絡ください。

教育長賞 最優秀賞

札幌市立太平南小学校  
保護者と先生の会  
「太平南」



講評

「今明かされるPTA活動を徹底解説」というテーマのとおり、PTA活動の内容に特化した丁寧な記事構成が秀逸です。各活動に興味がある保護者が集まって、一人一人のできる範囲で無理なく楽しく活動するという新しい形のPTA活動をスタートさせていることは、各学校のPTA活動の今後を占う試金石となると思います。また、授業や行事等におけるPTAボランティア活動などを紹介した記事には、卓越した企画力と高い取材能力が発揮されています。みんなで考えながら新しいPTA活動を進めていこうとする強い志が心に響く、白眉な広報紙です。

北海道通信社賞 最優秀賞

札幌市立北野台小学校  
父母と先生の会  
「スマイル きたのだい」



講評

まず、フィルター加工した表紙の教職員の写真に目を奪われました。目次も柔らかいタッチで、手に取って読んでもらおうという工夫に溢れています。編集後記に3年ぶりに復活した広報紙のテーマを「学校生活に絞った」と書かれておりますが、そのレイアウトもバラエティに富み秀逸でした。ページごとの編集にも広報委員さんの「統一感のある色づかい」が表れて、温かみと優しさを感じられますし、学校の明るい雰囲気も伝わる、PTA広報紙の永久保存版ともなる、価値ある作品でした。

教育長賞 優秀賞

札幌市立西岡北小学校  
保護者と教職員の会  
「にしきた かわら版」



日本教育新聞社賞 優秀賞

札幌市立北園小学校  
PTA  
「北園」



北海道通信社賞 優秀賞

札幌市立幌東小学校  
保護者と教職員の会  
「こうとう」



# 国内研修団報告

今年度の国内研修は、相模原市PTA連絡協議会のご協力をいただき以下の研修を実現することができました。

- 相模原市立富士見小学校様: 支援教育の実際について学ぶ
- 相模原市立中央中学校様: コミュニティスクールの活用について学ぶ
- 相模原市PTA連絡協議会様: 他都市との交流を深める
- 相模女子大特任教授大里朝彦様: 支援教育についての学びを深める
- JAXAキャンパス様: 子どもたちの夢を広げる宇宙科学研究について学ぶ
- 鎌倉見学: 鎌倉の歴史にふれる

百聞は一見に如かず、実際に目で見ること、話を伺うこと、対面の良さを随所に感じる研修となりました。このような貴重な機会を与えていただき、またご協力いただきました団員及び関係者の皆様へ感謝いたします。札幌市のPTA活動の参考になることがたくさんございましたので、様々な機会を通じて皆様にお知らせしたいと思います。



◀ 相模原市PTA連絡協議会の皆様と



▶ JAXAキャンパス見学

## 《 編集後記 》

無事、年3回の広報紙を発行することができました。取材や原稿作成などご協力いただいた皆様へ心より感謝申し上げます。私たち広報委員会では全員が対面で揃っての活動はできませんでしたが、各々ができることを模索し声を掛け合いながら活動してまいりました。社会情勢が大きく変わっていく中ではありますが、広報紙を通じて札幌市PTA協議会の活動を知っていただき、皆様がPTA活動について考えるきっかけになれば幸いです。



## 《 市P協からお知らせ 》

令和4年度に所属単位PTAの皆様にお願ひしました「PTA活動調査アンケート」の結果に関しましては、札幌市PTA協議会のホームページに掲載する予定です。

# それどうやって実現したの？ その手があつたか

番外編

前号の特集でアンケートを取らせていただきました。改めてご回答をありがとうございました。紙面の都合で割愛した回答の中にもコロナ禍とPTA活動を両立させるための様々な工夫がたくさんありました。今回は、大きなイベントを支えた小さなアイデアを紹介していきます。次年度の活動のためにスマホでパシャッと撮っておいてくださいね。

**密・接触をどうやって避けた？**

- 学年ごとに開催時間を分けた。
- 複数日で開催した。
- 思い切って学校の行事と別の日にした。
- 都度、手洗いを校内放送で呼びかけた。
- 会場数を増やして、集合人数を小分けにした。
- 少ないボランティアで運営できるよう、児童が首からさげるストラップの色で学年・グループがわかるようにした。
- 工作道具の共有化をしなかった。
- 学校内での移動を一方通行にした。
- プルーン狩りに行った。
- 中学校に催しのポスターを依頼。
- ノースサファリの移動動物園を招いた。
- ヨガ講習会をひらいた。
- ところ変わればこんなアイデアも
- 絵本作家さんを招いた。
- 移動天文台を招いた。
- スポーツクラブを招いてダンス教室をひらいた。

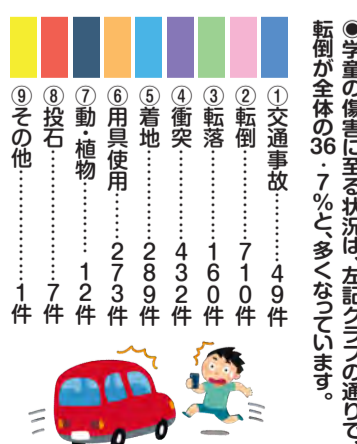
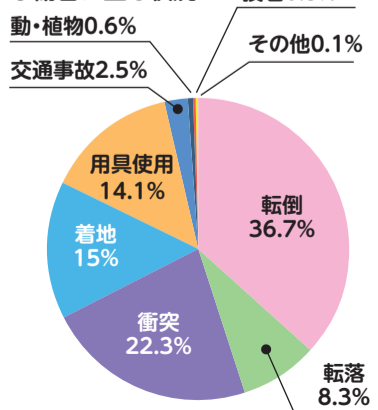
不明な点は…学校のPTA事務局または、札幌市PTA共済会事務局(0671-2672)へお気軽にお問い合わせください。

◆保護者等のケガでは、スポーツ活動中での重傷者が多く、長期間にわたって入院や通院となっています。ケガは、本人はもとよりご家族の心配や不自由な生活が伴うものです。スポーツ大会等、体を使うPTA活動においては、十分な準備運動をするよう心がけましょう。

■ 共済金支払件数と支払金額(1月31日現在)

加入者	支払件数	支払金額	内容
幼稚園	8	90,000	一般傷害(8) 交通事故(0)
小学校	1,638	16,004,000	一般傷害(1,602) 交通事故(36)
中学校	287	3,772,500	一般傷害(274) 交通事故(13)
保護者等	8	577,500	保護者・教職員7件 特別1件
合計	1,941	20,444,000	死亡0件 後遺障害1件

● 傷害に至る状況



◆「2022年度」2023年1月31日現在の共済金支払件数と支払金額をまとめたのが左記の表です。

● 子どもの傷害に至る状況は、左記グラフの通りで、転倒が全体の36.7%と、多くを占めています。

※「共済金請求書兼治療申告書」提出時には、領収書のコピーが診療明細書の「コピー」を添付してください。

事故報告書・共済金請求書用紙は、学校のPTA事務局から受け取りください。必要事項を正確に記入し、PTA事務局に提出してください。卒園・卒業してから請求する場合は、ケガをした当時の園や学校のPTA事務局に提出してください。

※「共済金請求書兼治療申告書」提出時には、領収書の「コピー」が診療明細書の「コピー」を添付してください。

事故報告書・共済金請求書用紙は、学校のPTA事務局から受け取りください。必要事項を正確に記入し、PTA事務局に提出してください。卒園・卒業してから請求する場合は、ケガをした当時の園や学校のPTA事務局に提出してください。

## PTA共済会からのお知らせ

忘れていませんか？  
事故報告・共済会請求

年度末になりました。「ケガをしたのに、「事故報告書」や「共済金請求書兼治療申告書」を、まだ提出していない加入者はいらっしゃいませんか。

「事故報告書」は、事故日からその日を含めて30日以内に報告が必要で、事故後、速やかに提出して下さい。また、共済金の給付対象は「ケガ」をした日から数えて180日までとなっていますので、まだ治療中であっても180日が経過してしまえば、すぐに請求してください。